

川崎市官民連携総合窓口「Kawasaki Future Co-Lab」

川崎市官民連携総合窓口の名称

Kawasaki Future Co-Lab

この挑戦が、次の挑戦を生む。

この名称は、「Co-Creation」と「Laboratory」を組み合わせた言葉であり、川崎の未来を様々な主体と立場や分野を超えて、共に創っていく共創の起点にしたいという思いを込めています。

タグラインには、川崎で生まれた挑戦を社会に実装し、その成果を次の挑戦へとつなげていくこと、また、社会実装までを見据えた挑戦を重ねることで、実証にとどまらない挑戦の連鎖を川崎から生み出していくという決意を込めています。

Vision(目指す姿)/value(大切にする価値観)

川崎市の官民連携に取り組む上で、「Vision(目指す姿)」と「Value(大切にする価値観)」を掲げて、共創に向けた市の想いを民間企業・団体の方々に発信していきます。

Vision

目指す姿

川崎から世界へ —

「社会課題の解決」と「新たな価値の創出」に挑み、
社会を前に進める変革を生み出し続ける。

Value

大切にする価値観



挑戦が集う共創の場

川崎という舞台で、立場や領域を越えて挑戦する意志をもつ
多様な主体が交わり、社会課題の解決や新たな価値創出に向けて共創する。



確実な社会実装

川崎の都市規模と波及力を活かして、サステナブルで実効性の高い事業を生み出し、
社会に実装していく。



成果と挑戦の循環

創出した事業が、社会を前に推し進める原動力となり、
次なる挑戦へ踏み出す主体を呼び、川崎を起点に、挑戦が次の挑戦へとつながっていく。

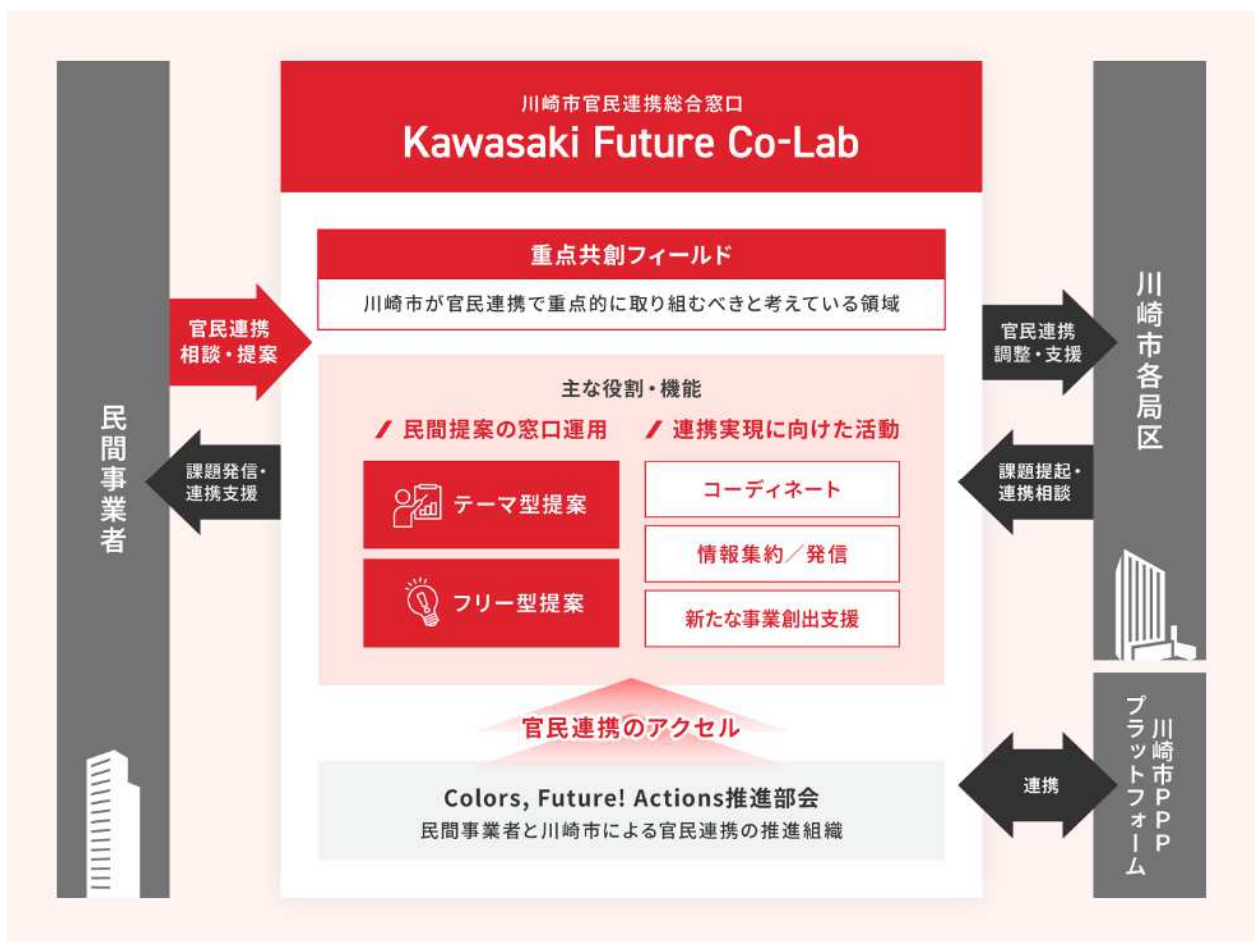
川崎市官民連携総合窓口「Kawasaki Future Co-Lab」の概要

本窓口では、民間企業・団体の皆さまからの相談や提案を一元的に受け付け、情報発信、庁内調整、事業創出に向けた支援の機能を集約することで、「社会課題の解決」や「新たな価値の創出」を継続的に生み出し、確実に社会実装へとつなげていく仕組みを構築していきます。

川崎市が重点的に取り組む領域である「重点共創フィールド」や各局区が抱える課題を発信するとともに、民間提案制度による提案(テーマ型・フリー型)を受け付け、庁内各部署との調整や事業コーディネートを行いながら、事業創出から社会実装に至るまでの取組を推進していきます。

また、社会的インパクトが大きく、担当部署が明確でない取組についても、官民連携推進組織「Colors, Future! Actions 推進部会」と連動し、民間主体の視点を生かしながら、取組を推進していきます。

■ 総合窓口の流れ(イメージ)



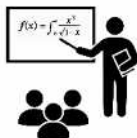
重点共創フィールド

川崎市が重点的に取り組む領域を「重点共創フィールド」として明確に発信し、検討の初期段階から民間企業等の参画を促し、施策の方向性に合致した企画提案等を取り込みながら、事業の創出と社会実装を一体的に推進します。（社会情勢の変化や取組の進捗状況を踏まえ、適宜見直しを行います。）

■ 4つの重点共創フィールド

次代の産業を担う人材づくり

ものづくりやデジタル分野において、次代の産業を担う高度な人材を育成するため、企業や大学と連携し、ともに運営する高等専門学校の設定を目指す。



データを活用した健康づくり

官民連携で、健康診断のデータ情報や医療に関するビッグデータを効果的に活用しながら、更なる市民一人ひとりの健康づくりにつなげることを目指す。



人と住まいの循環による暮らし続けられるしくみづくり

子育て世代の定住・転入促進に向け、既存住宅ストックの活用などにより、多様な住まいの供給を促し、子育て世代や高齢者等がライフステージの変化等に合わせて住まいを選び、住み替えることができる循環型の居住環境の構築を目指す。



未来の市民の足を守る交通環境の形成

自動運転バスの実装やデマンドなどのコミュニティ交通の導入、交通結節点となるモビリティステーションの形成などに向けて、多様な主体と連携しながら取り組み、市民の移動しやすさに暮らしやすさを組み合わせた持続可能な交通環境の形成を目指す。



民間提案制度による提案受付

川崎市における民間提案制度では、「テーマ型」と「フリー型」の二つの方式により、民間企業等の皆さまからの提案を受け付けています。

提案は、専用 WEB サイトに掲載している応募フォームから随時受け付けています。

■ テーマ型提案

各局区が抱える課題に対して、民間企業等の皆さまから課題の解決につながる提案を募集しています。提案を募集している課題については、専用WEBサイト上に掲載しています。

5月25日時点では27件のテーマ型課題を掲載しており、今後も随時、更新していきます。

■ フリー型提案

テーマ型提案で募集している課題に限らず、自由な発想による、社会課題への対応や新たな事業創出につながる提案を受け付けています。

Colors,Future! Actions 推進部会

官民連携により、社会課題の解決や豊かな市民生活の実現、地域経済の活性化や新たな価値の創出を図り、「あたらしい川崎」を生み出していく取組を推進することを目的として、令和8年1月に川崎市 SDGs プラットフォーム内に「**Colors,Future! Actions 推進部会**」を設立しました。

部会事務局、部会員、共創パートナー及び共創アクセラレーターで構成され、**社会的インパクトが大きく、担当部署が明確でない、民間企業主体の事業推進や官民連携の更なる推進に向けた取組への参画・協力・助言**を行い、川崎市における取組を加速させる役割を担います。

■ 「Colors,Future! Actions 推進部会」の構成(令和8年5月時点)

部会員	共創パートナー	共創アクセラレーター
部会の官民連携のプロジェクトを主導する民間企業や団体	個々の官民連携のプロジェクトの創出・発展のため、参画・協力・助言などを積極的に行う民間企業や団体	川崎市における官民連携のプロジェクトの創出・発展を促す取組や仕組みづくりを積極的に行う民間企業や団体

部会員	共創パートナー
部会のプロジェクトを主導する民間事業者	味の素株式会社 小田急電鉄株式会社 新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 株式会社チッタエンタテイメント 株式会社ディー・エヌ・エー 東急株式会社 東急不動産株式会社 日本電気株式会社 株式会社ホリプロ 三菱化工機株式会社 株式会社 JTB NTT 東日本株式会社
共創アクセラレーター	
公益財団法人川崎市産業振興財団 川崎商工会議所 川崎信用金庫 株式会社東芝 富士通株式会社 株式会社横浜銀行	
部会事務局	
川崎市総務企画局共創推進室	

■ 「Colors,Future! Actions 推進部会」のプロジェクト(令和8年5月時点)

Colors,Future!Summit	未来のアクションを構想・実験・体験できるコンテンツを提供し、「あたらしい川崎」を生む官民連携の主要な取組として継続・発展を図る取組
ここから未来プロジェクト	溝口駅前キラリデッキの誰もが楽しめるオープンなステージを活用し、音楽やダンスを通じた地域社会の活性化とオープンスペースで活動ができる場の創出にチャレンジする取組
かわさき脱炭素プロジェクト	複数企業による協議会を立ち上げ、持続可能なラストワンマイル配送の実現等に向けた分析・実証などを行っている取組
川崎駅周辺大規模イベントプロジェクト	「みんなの川崎祭」をはじめとする複数イベントを掛け合わせた多様な分野が融合した大規模イベントを新たに立ち上げ、川崎の魅力をもっと高めることを目指す取組

※部会の構成や実施プロジェクトについては、取組状況等を踏まえ、適宜見直しを行います。

Kawasaki Future Co-Lab

この挑戦が、次の挑戦を生む。

専用WEBサイト

川崎市官民連携総合窓口「Kawasaki Future Co-Lab」の開設に併せて、専用WEBサイトを公開しました。WEB サイト上に設けている専用フォームにおいて、民間企業等の皆さまからの相談や提案を一元的に受け付けるとともに、「重点共創フィールド」や各局区が抱える課題、関連情報等を集約して効果的に発信していきます。

■ デザイン

前向きな挑戦や新しい価値を生み出す情熱を象徴する「赤色」と多様な価値観を受け入れる包容力や多様性を象徴する「黒色」を基調とし、川崎の都市としてのエネルギーと革新性、人と人を結びつける活力を印象づけ、川崎の未来への可能性を表現しています。

<専用WEBサイトのトップ画面イメージ>



■ 掲載コンテンツ

民間企業等の皆さまからの提案を受け付ける専用フォームをはじめ、川崎市が特に重点的に取り組む領域である「重点共創フィールド」や各局区が抱える課題、さらには取組事例や関連情報の特集記事など、さまざまなコンテンツを掲載します。

- 民間企業等からの提案を受け付ける専用フォーム
- 「重点共創フィールド」及び提案募集中の課題
- 取組事例、特集記事、インタビュー記事
- フォーラム等のイベント案内 など

<提案募集中の課題一覧イメージ>



■ URL

<https://kawasakicity100.jp>



Kawasaki Future Co-Lab

この挑戦が、次の挑戦を生む。